



糸魚川ジオパークだより | 第120号 |

問合せ 商工観光課 ジオパーク推進室 ☎552-1511

全国的に新型コロナウイルス感染者数が減少傾向にあり、観光客の動きも戻ってきました。

糸魚川ジオパークでは、感染状況を注視し対策を講じながら、ジオパーク学習や地域づくりなどの活動を展開しています。



フォッサマグナパークでの現地調査



下早川小学校ではジオパーク学習発表が行われました

## 世界ジオパーク再認定に向けて



ユネスコ世界ジオパークでは、地質や自然資源等の保護・保全をはじめ、教育や防災、ネットワーク活動等の実施状況を確認するため、4年ごとに再認定審査が義務付けられています。

9月21日から24日まで、新型コロナウイルス感染拡大で延期されていた糸魚川ジオパークの現地審査が行われました。

### ■ 審査の内容と結果は？

審査員は、ユネスコ世界ジオパークネットワーク事務局から任命されたシャフィーアさん（マレーシア）とメガさん（インドネシア）の2人で、2018年にリニューアルしたフォッサマグナパークや下早川小学校のジオパーク学習のほか、糸魚川真柏活用プロジェクトや焼山の火山防災の取組等を確認していただきました。

審査の結果は、12月下旬のユネスコ世界ジオパークカウンシル会議で審議され、来年1月下旬頃に再認定の可否が通知される予定です。

## 3年ぶりの現地開催！ 第12回 日本ジオパークネットワーク全国大会



©第12回日本ジオパーク全国大会白山手取川大会実行委員会

## 白山手取川大会フォト集

10月21日から23日まで、白山手取川ジオパーク（石川県白山市）で「地球と旅する」をテーマに全国大会が開催されました。

糸魚川ジオパークからはガイドや高校生が参加し、ポスター発表や物産販売等を通して大会を盛り上げました！



©第12回日本ジオパーク全国大会白山手取川大会実行委員会

5月末にJGN理事長を退任した米田市長（写真中央）への感謝状贈呈